

ふるさと雇用再生特別基金事業事例集

平成21年9月

厚生労働省職業安定局
地域雇用対策室

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【産業振興分野】

北秋田市を儲かる地域にするため、私達は立ち上りました。地元事業者とのパートナー関係を構築し販売を行い共栄する。産業界にとって今必要なことは、成功事例であると確信しています。私どもはその魁としてこの試みをどのような苦難や試練があっても必ず成功させなければならないと決意を新たにしています。



北秋田名物株式会社
代表取締役
野宮 幸博さん

事業概要

地域ブランドを総合プロデュースする会社を設立し、地域ブランド商品の創出及び、販売も行う。又、街づくり事業として市の振興の一翼を担う。

委託先

北秋田名物株式会社

新たな
雇用創出数

11人

事業費

3125万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年7月～

秋田県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

秋田県 0.29倍(季節調整値)
北秋田市管内 0.29倍(原数値)

業務内容

新たな株式会社の創業

公益性

五分野

ホームページ開設支援

地元商業者の販売支援

観光案内施設「べ」の運営

企画・コンサルタント・商品開発支援

地域ブランドの創出による北秋田のPR



《北秋田名物株式会社を創業した6人》

観光コンシェルジュの皆さん

北秋田市の素晴らしい体験滞在型観光商品を、訪れる観光客にワンストップで紹介する「観光案内サービス」を提供し、広く北秋田市の観光をPR致します。

北秋田の素晴らしい自然を皆様に伝えます。



観光コンシェルジュ

お客様にホスピタリティを持って対応させて頂いております。



物産品の販路拡大に努めます。



情報部、営業部、総務部



北秋田名物産品

推奨品に貼ります。



@事業部

創業者たちからの声

眠っている観光ブランドを掘り起こして全国に北秋田を発信し儲かる地域づくりに貢献して欲しい。

今後の姿

この会社が3年後、立派に機能し、私たちが幼少の頃の活気をこの北秋田市に取り戻す事が最大の目標です。



内陸線
鷹巣駅前
本社

駅前の左右です



「儲かる地域」と新たな賑わいの創出を目指して！



外国からいらしても大丈夫です。
ご当地キャラクター作成中。
感動を伝えます。
観光の提案いたします。
お待ちしております。
猛勉強中です。

コンシェルジュ一同



就業のための日本語習得事業【三重県】

事業紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【教育・文化分野】

昨年からの経済の悪化で失業し、再就職を望む在住外国人から日本語学習の希望の声が多く寄せられていました。日本語だけでなく日本の習慣、常識、ルールなどを知らないまま、長年日本に暮らしている人がいます。外国人にとっても、日本語学習の機会ができたことは重要ですが社会の隣人として向き合う、日本人にとっても大事な事業を行うことができたと思います。



NPO法人愛伝舎
理事長 坂本久海子さん

事業概要

就労のための専門的な技術習得や介護技術の習得等に必要な基本的な日本語能力を外国人労働者に身につけてもらうため、日本語講師を雇用し、日本語教室を開催する。

委託先

NPO法人愛伝舎（2005年設立）
所在地：三重県鈴鹿市、従業員数：6名

新たな
雇用者数

2名

事業費

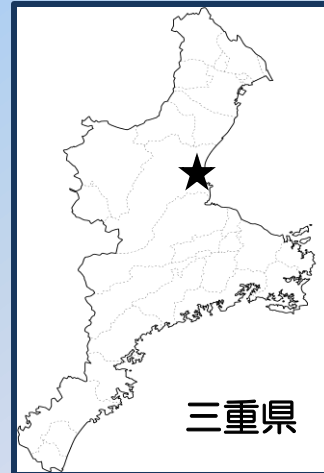
約859万円（平成21年度）

事業開始

平成21年6月～

事業内容

日本語能力が十分でない外国人に対して就労のための日本語の講義を行うとともに、受講終了後の就労に向けた支援等を行う。



三重県

授業の様子



ポイント!
日系人が多く
住む団地の公
民館を活用し
て授業を行っ
ています。

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

- 三重県 0.39倍
(季調値)
- 鈴鹿管内 0.26倍
(原数値)

日本語教師のみなさん



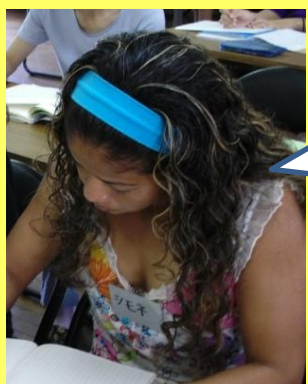
日本語教師
大津さん

日本語教師
坂井さん

私も日系人で、日本に来てから日本語を学びました。日本語の文法の難しさはよく分かるので、ポルトガル語で日本語がまだよく分からない生徒さんに説明したいと思います。毎週の授業で、生徒さんが上達しているのを実感できて嬉しいです。

受講生さん達が、日本で仕事をして生活できるようになることが私たちの願いです。外国籍の方々が少しでも生活しやすくなれば、と思っています。

受講生のみなさん



受講生
シモネさん

始めたときは、日本語が何も出来ませんでした。今は、平仮名、カタカナはほぼできます。自分のためにもっと勉強したいと思っています。

この学ぶチャンスをととてもありがたいと思っています。就職するチャンスも大きくて、もっと自信を持ってやっていけるとおもいます。



受講生
リリさん



この教科書とノートを使って、日本語を勉強しています！！

今後の抱負（坂本理事長）

外国人の日本語学習の意欲は、たいへん高くなっていると思います。日本で暮らしていく上で、日本語ができるということは自立して暮らす第一歩ですし、職業や生活の場面に合わせた授業を行うなどこれからも日本語教室の運営を進めていきたいと思っています。

ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業 【兵庫県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【産業振興分野】

豊かな自然環境や地域資源を有する但馬・丹波・淡路地域でのコミュニティ・ビジネス(以下、CB)等の起業・就業を促すため、起業・就業支援のノウハウを持つ中間支援組織を活用し、同地域でのCBの啓発・指導を行っています。

兵庫県



事業概要

但馬、丹波、淡路地域で、コミュニティビジネス(CB)啓発・指導等を行い、多様なCBの創出を図る。

委託先

- ・宝塚NPOセンター
- ・コミュニティ・サポートセンター神戸
- ・シーズ加古川

新たな 雇用創出数

7人

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の
有効求人倍率)

兵庫県0.47倍
(季節調整値)

事業費

16,997千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

業務内容

ふるさとCB指導員により、但馬・丹波・淡路地域でのCB起業を希望する団体等に起業実践例等を啓発・指導する。

失業者等を雇用しようとする但馬、丹波、淡路地域のCB団体等の掘り起こしを行う。

但馬、丹波、淡路地域のCB団体等と都市部の団体との協働による都市農村交流事業を実施する。



丹波地域ふるさとCB指導員と
事業スタッフ一同

ふるさとCB 指導員の声

ふるさとCB創出支援事業に携わって、但馬地域の多くの人々と出会い、NPO法人等のCB起業に対する熱い思いをひしひしと感じています。一日も早くCB団体の設立が具体化し、活動を開始されることを楽しみにしています。

初めて、法人設立の書類作成に加わり、楽しくできたので、自分には向いていると思いました。



指導員：芦田さん

相談を通じてまちの課題が明確になり、相談者は仲間と新しい組織(NPO法人)を作ることを決意されました。支援した成果が形となって現れることに非常に喜びややりがいを感じています。



指導員：榎本さん



NPO法人の設立に関する相談を受けていた団体が平成22年1月にはNPO法人として認証される見通しとなり、関係者の皆さんと喜びを分かち合いました。

NPO法人の設立認証申請書類を作成中



まちづくりに向けたCB起業相談

今後の姿 と課題

○但馬地域に多くのCB団体が生まれることで、雇用が生まれ、地域の活性化に繋がることを期待し、同地域にCB支援の拠点となる中間支援組織を設立することを目標としています。

○ふるさとCB指導員の両名は、地元関係者との繋がりを大切にし、粘り強く相談に応じています。CBの普及・啓発や起業支援に向けて活躍されることを期待しています。

〔 特定非営利活動法人
宝塚NPOセンター吹曾さん 〕

ふるさとCB 指導員の声

CBにより丹波地域が元気になるよう起業支援や普及啓発活動を行っています。また、同地域の特産物を活用したCBの安定的な運営をサポートするために阪神間への流通ルートの確立にも取組み、都市と農村が交流できるしくみづくりにも力を入れています。



指導員：
和田 聖士 さん

住宅の中に少しでも兵庫県産の木材が使われるような地産地消の運動を広げていきたいと思っています。

阪神間の援農市民団体が行う環境創造型農業による特産品づくりや販売支援等を行っています。



指導員：
大谷 敏行 さん

丹波地区の農産物のうち特にB級品を阪神地区で購入・利用できるように仕組みを支援したいと考えています。



指導員：
臼井 隆夫 さん

今後の姿と 課題

○丹波地域を盛り立てられるよう地域の方々と手を携え、解決の道を模索しています。特産品を多くもつ地域の特性を活かして、CBによる「ひょうごの食・森」のブランドを再生することが最大の課題と考えています。

○ CBの推進によって都市と農村の交流がますます深まり、丹波地域の活性化に役立つことを期待しています。

○ 学生や多くのボランティアの方の参加をいただきながら、多方面からの交流事業として活性化していきます。

○ 丹波地域のあらゆる資源を活用したCBの創出に力を発揮してもらいたいと思います。

〔 特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸 国枝さん 〕

間伐材を使った商品の
販路開拓支援をスタート！



フラワーポット

ふるさとCB 指導員の声

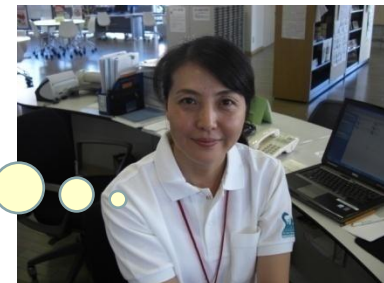
CBは、地域のニーズや課題を住民が主体となってビジネスの手法により解決する地域の事業です。CBの成功により地域の活性化に繋がられている例も多くあり、それをお手本に地域資源を多く持つ淡路地域が元気になるようサポートしていきたいと思えます。

地域の実情は色々で課題も違いますが、共に勉強をしながらコミュニティ・ビジネスを実現させたいと思っています。



指導員：原田 至康さん

淡路地域を元気にするお手伝いが出来れば嬉しく思います。



指導員：西岡 久美子さん

CBに関心を持ち、日々勉強しながら頑張っています！
CBにより淡路地域を盛り上げたいという意気込みが伝わってきます。



日々、勉強です。

今後の姿と 課題

○現在はそれぞれの地域の課題や活動状況の情報収集に努めていますが、課題に対する解決手法を地域の方々と相談しながら、法人設立や事業運営、広報等についての支援を展開していきたいと考えています。

○淡路で生まれたコミュニティビジネスが淡路とその他の地域を繋ぐ架け橋になることを期待しています。

〔 特定非営利活動法人シーズ加古川
柏木さん 〕



明石海峡大橋

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【スポーツ分野】

子どもから高齢者まで幅広い対象のスポーツ教室を実施し、多くの県民にスポーツに親しむ機会を提供しています。

本事業が地域雇用の創出につながるとともに、県民の体力向上や健康増進に寄与することを期待しています。



財団法人鳥取県体育協会
会長 田淵康允さん

事業概要

競技者や指導者として豊富な経験を有する者をスポーツ指導員として雇用し、スポーツ教室の企画・立案、ジュニア選手の指導等、鳥取県におけるスポーツの普及・発展及び競技力の向上を図る。

委託先

財団法人鳥取県体育協会

新たな 雇用創出数

3人

事業費

10,988千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

鳥取県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)

業務内容

コカ・コーラウエストスポーツパーク内のトレーニングルーム利用者への指導や地域に出向いての外部指導

スポーツ教室(サッカー、ホッケー、ニュースポーツなど)の企画・運営

スポーツに関する広報を行うとともに、スポーツ相談コーナーに寄せられた一般の方からの問い合わせに対応



《ポルト選手などジャマイカ陸上チームも合宿を行った「コカ・コーラウエストスポーツパーク」》

新規スポーツ指導員のみなさん

私たち3名の指導員は、ひとりでも多くの県民の皆様には運動する楽しさや爽快感を体験していただくために、スポーツ教室の指導や広報活動に励んでいます。

スポーツの指導に大変やりがいを感じています。



体育指導員 市村恒久さん

スポーツに親しめる環境づくりに励んでいます。



体育指導員 細田謙治さん

スポーツすることの楽しさを伝えることにやりがいを感じています。



体育指導員 齋藤綾美さん

お客様からの声

新しい指導員の方と楽しく汗を流しています。これからもスポーツ教室がますます充実することを期待しています。

子どもがスポーツ教室のある日を楽しみにしています。

私たちの地域にも指導者が来てくれてうれしいです。



《 サッカー指導中 》

今後の姿と課題

多種目の教室を実施していますが、多様なニーズに応えるために、教室の見直しや内容の充実を図っていきたく考えています。

3名の体育指導員の特性に合わせたスポーツ教室を実施し、より多くの県民の方にスポーツに接するキッカケ作りを提供したいと考えています。



財団法人鳥取県体育協会
事務局長 飯塚雅夫さん

Uターン相談・宿泊体験ハウス管理事業【鳥取県：鳥取市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【産業振興分野】

近年、関西圏や首都圏などの都市部に住んでいる人々を中心に、田舎暮らしやUJIターンを希望する人が増えています。
鳥取市では、全市あげて、特に若者や団塊の世代を中心に帰鳥・移住、UJIターンを促進しています。行政機関の支援制度や住宅・就業・生活に関する情報を総合的に提供するとともに、各種相談をお受けしています。

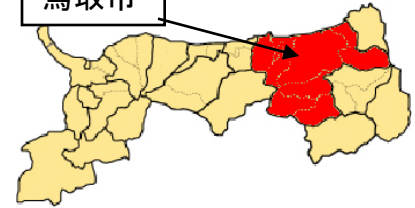


鳥取市企画推進部
企画調整課地域振興室
宮本 健さん

事業概要

鳥取市へのUJIターン者や、二地域居住者がスムーズに定住等していただけるように企画・運営・サポートを実施し、移住定住、二地域居住などの促進につなげる。

鳥取市



委託先

(財)鳥取開発公社

新たな 雇用創出数

4人

事業費

9,972千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年5月～

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
鳥取管内 0.37倍(原数値)

業務内容

①市内移住定住・二地域居住希望者への相談対応業務

②県・市職員・(財)ふるさと鳥取県定住機構職員等からの相談窓口調整業務

③移住定住・二地域居住につながる各種補助事業の活用説明と各種補助

④移住定住・二地域居住に係る先進事例等の情報収集並びに県、市、関係団体等への情報提供

⑤県内外での移住定住・二地域居住に係るイベント等への参加及び情報提供

⑥「木造住宅モデル普及事業」の展示ハウス・宿泊体験ハウスの管理運営



一口に移住定住、二地域居住といっても様々なケースが考えられるので大変です。まず、鳥取市を知ってもらおう参加型の様々な体験メニューを旧鳥取市域、また新たな新市域(国府・福部・河原・用瀬・佐治・鹿野・気高・青谷)で展開。おためし宿泊体験施設もあります。(ホームページ <http://www.city.tottori.lg.jp/>)



風情のある城下町 鹿野町のお試し体験施設

鳥取の良さをいろいろな角度から知って
もらいたいです。
魅力一杯ですよ。

お試し体験施設の利用料は、
1日1組1,000円です。最短
3日から最長2カ月までご利用
可能です。(鹿野町・佐治
町に各1棟)



移住定住推進員 宮路幸雄さん

お客さまからの声

鳥取市相談支援窓口におられる方々の対応は、相談者の立場で親身になって話を聞いて頂けるのでとても感謝しています。又、定住後も継続して相談できるのがありがたいですね。

今後の姿と課題

どんな場面であっても、お客様のニーズに合わせた対応ができるようになることが大切。そのためにも、スキルの向上が必要です。また受け入れ側の方々の協力が大切であり、つながりを密にしていきたいです。 [移住定住推進員 宮路幸雄さん]



佐治町 山王滝

福祉の店販売促進事業【鳥取県:倉吉市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【福祉分野】

福祉の店は鳥取県の中部地区18の授産施設、作業所、障がいのある方の関係団体で構成されており、平成12年に設立しました。販売実績も年々、少しずつですが増加しています。

昨年6月から倉吉市役所、今年度から鳥取県中部総合事務所で出張販売をしています。また、ショッピングセンターや各種イベントの時に来店しています。

今回、ふるさと雇用再生特例基金事業で、障がいのある方を2名雇用し販売促進を実施していますが、まずは接客業務を経験してもらい、次のステップにつなげていきたいです。



中部地区福祉の店
振興協議会
会長 八渡和仁さん

事業概要

障がいのある方の授産施設等で作られた、食品・農産物・手芸品等を福祉の店で販売する。障がいのある方を雇用し販売促進等を行う。

委託先

中部地区福祉の店振興協議会

新たな 雇用創出数

2人

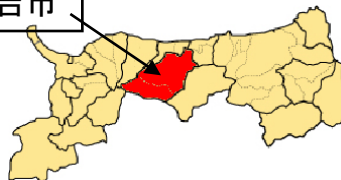
事業費

2,234千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

倉吉市



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
倉吉管内 0.39倍(原数値)

業務内容

月曜日から金曜日に福祉の店で食品・農産物・手芸品の物品の販売補助

倉吉市役所や鳥取県中部総合事務所、ショッピングセンターや各種イベントの時の出張販売での販売の補助

福祉の店チラシをパソコンで作成し、出張販売の時等にPR



《 シビックセンターたからや内にある福祉の店 》

障がいのある職員

以前の仕事と全然ちがう販売の仕事ですが、お客さんとのふれあいは楽しいです。(山下さん)
これまで、営業をしてきましたが、店の販売の仕事ははじめてです。楽しみながら自分のペースで仕事をしています。お客様にも声をかけたりして接客に心がけています。(本田さん)

市役所に毎週金曜日に販売にいきますので、皆さん買ってくださいね!



福祉の店の販売、PR担当
山下真吾さん

買っていただいたリピーターのお客様から声をかけてもらった時が嬉しいです。



福祉の店の販売、PR担当
本田経嗣さん

先輩職員からの声

今までの手書きの経理から、本田さんにはパソコン経理をしてもらい助かります。山下さんには、販売の他に清掃をしてもらい、きれいな店でお客様から喜ばれています。お客様に接するなかでいろいろな経験をして幅広い活躍を期待しています。



今後の姿と課題

障がいのある方の就労の場をひろげていくとともに福祉の店の益々の販売促進につなげていければと思います。

中部地区福祉の店
振興協議会
会長 八渡和仁さん

毎週楽しみにしています。
クッキーやクレープを良く買います。地域のおばちゃんも、野菜等を買いによく来られるそうです。



福祉の店は食品、農産物、手芸品等いろいろと品揃えをしていますが、おすすめは「打吹うどん」です。倉吉市のシンボル打吹山に伝わる天女伝説の羽衣をイメージに創作された、いままでになかった新しい食感のうどんです。

まるで天女の羽衣の食感!
鳥取県知事も大絶賛!!

《市役所で出張販売をやっています!》



環日本海定期貨客船利用者おもてなし事業【鳥取県:境港市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【観光分野】

待望の「環日本海定期貨客船航路」が21年6月に開設されました。この航路は境港市経済の活性化のみならず、西日本と対岸諸国の「人」・「モノ」・「文化」の交流を促進する「海の道」となるものです。「北東アジアに向けたゲートウエー・境港(さかいこう)」が発展するように、韓国やロシアなどからのお客様が日本に来て良かったと思われるようなおもてなしに全力を尽くしています。

境港市観光協会
黒田事務局長

事業概要

韓国の「東海」とロシアの「ウラジオストック」と境港を結ぶ環日本海定期貨客船が発着するフェリーターミナルに観光デスクを設置。外国語対応の可能な職員を配置し、観光案内や両替を行いおもてなしの充実を図る。

委託先

境港市観光協会

新たな 雇用創出数

2人

事業費

6,358千円

事業の開始

21年6月～

境港市



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.45倍(季節調整値)

米子管内 0.41倍(原数値)

業務内容

国際観光スタッフとして、外国人来訪者に各国(ロシア、韓国など)の言葉で境港市内をはじめ、大山・中海圏域等の観光案内

外国人観光客の両替や出入国手続きのお手伝い。
フェリーターミナルを利用する旅客等への湯茶のサービス

おもてなしの向上や航路の利用促進を図るため、接客を通じて、外国人旅行客の嗜好や旅行動向の把握



新規雇用の皆さん

境港市観光協会の国際観光案内スタッフとして外国人(ロシア人、韓国人、アメリカ人、中国人、ヨーロッパ各国の人々)の皆さんへ各国の言葉で観光案内、行き先案内を行っています。多くの外国からのお客様に心のこもった案内をしていきたいと思っています。

「外国からのお客様に心のこもった案内をしていきます。両替も担当しています。」
(塩谷晃司さん)



「ようこそ境港へ。各国の言葉で観光案内します。」
(景山アルピーナさん)



今後の姿と課題

この航路を利用してより多くの観光客が外国から来てもらいたいです。いろいろな言葉が飛びかい、頭の切り替えが大変ですが、おもてなしの充実に努め、国際交流の一助となればと思い頑張っています。

境港市観光協会 塩谷晃司さん



ふるさと雇用再生特別基金事業を活用した本事業を「環日本海定期貨客船航路」の発展と、本市経済の活性化・雇用の創出につなげていきたいと思ひます。

境港市産業環境部貿易観光課 浜田潤さん



事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【観光分野】

米子市は、日本のトライアスロン発祥の地であり、皆生温泉、大山、中海など温泉・自然に恵まれた地域です。こうした環境、資源を活用して、健康・スポーツをテーマとしたメニューを企画立案の上、お客様に満足いただける商品を提供したいと思います。



米子市観光協会会長
杵村 善久さん

事業概要

健康・スポーツを切り口とした新しいツアーメニューの開発による観光振興を図る。

委託先

- ①米子市観光協会
- ②皆生温泉旅館組合

新たな
雇用創出数

2人

事業費

7,500千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～



米子市

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
米子管内 0.46倍(原数値)

業務内容

子供たちからトップアスリートの皆様まで、広くスポーツ合宿の誘致活動を実施。宿泊先の紹介や合宿中のコース案内・トレーニングサポート

ストレッチポール運動・ウォーキング・サイクリングなど健康増進運動と温泉の効果を活用した、健康メニュー商品を企画・実施

各種健康メニュー商品を既存の旅行商品に組み入れていただくよう、旅行代理店への企画・提案



《トライアスロン大会 大山を背景に》

スタッフの
みさなん

皆様にご満足いただける“健康とスポーツ”をテーマとした魅力的なメニューをご提案します！



米子市観光協会ヘルスツーリズム
プロデューサー 小原 エさん

米子市は海、山、温泉などの自然環境が大変豊富です。この環境を最大限に生かした健康プログラムやスポーツをテーマとしたメニューを作り出すことによって、多くのお客様にお越しいただきたいと思っています。米子の良さを体感していただき、健康増進やスポーツの競技力向上にお役に立てるよう頑張ります！



皆生温泉旅館組合ツアー
コーディネーター 平野 哲さん

メニューの
一例

大手代理店のツアーにも健康メニューを取入れていただきました。



トライアスロン日本・
中国地区代表選手
5名が合宿で利用さ
れました。

健康増進のための
ストレッチポール運
動です。



運動の後は、“海に湯が沸く
米子の皆生”温泉でさっぱり
汗を流して、心もリフレッシュ
してください！

今後の
取組み

事業を通じて、この地域を「健康」「スポーツ」「温泉」などをキーワードにしたイメージづくりを行ない、米子・皆生が心身のリフレッシュ・アスリートトレーニングのメッカになるよう目指していきます。 [米子市経済部観光課 課長 永江 浩庸さん]

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【教育・文化分野】

宮島細工の伝統工芸士は彫刻とロクロで各2名まで減少しており、技術の断絶が危惧されています。伝統産業の担い手を育成すると同時に、後継者が安定した生活ができるよう、新たな土産物を開発し、安定した雇用と技能継承の仕組みを構築したいと考えています。



宮島細工協同組合理事長
広川和男さん

事業概要

宮島細工を活用した、新たな土産物の開発、宣伝、販路開拓を行い、新しい宮島ブランドを作ることで伝統産業の後継者の育成及び観光振興を図る。



委託先

宮島細工協同組合
(広島県廿日市市宮島町)
組合員数12人

新たな
雇用創出数

4人
宮島細工の後継者(3名)
事業コーディネーター(1名)

事業費

約988万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年5月

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

広島県0.54倍(季節調整値)
廿日市管内0.19倍(原数値)

業務内容

古くから宮島にある伝統工芸「宮島細工」を活用した、新しい土産物の開発、宣伝、販路開拓を行い、新しい宮島ブランドを作ることで、伝統産業の後継者育成、宮島観光の振興に繋げる。



厳島神社の大鳥居



素地を活かした、繊細で写実的な装飾彫刻が特徴

事業の背景と ねらい

杓子を始めとして、彫刻、ロクロ、刳物などの木製品を制作する「宮島細工」の伝統工芸士が各2名となり、技術の断絶が危惧されている。



宮島の杓子「みやじまさん」



ロクロ細工 宮島彫り 杓子

宮島への観光客はH20で343万人と急増しているが、島内で製作された土産物品は少なく、一人当たりの観光消費額が増加していない。

「宮島細工」の後継者を3名雇用し、技術指導を行い、伝統工芸の後継者として育成するとともに、新しい土産物品の開発を行う。

事業コーディネーターを1名雇用し、新たな販路を開拓するとともに、インターネットを活用した情報発信を行い、宮島細工の今後の方向づけを行う。

宮島細工職人の声

1日を通して宮島彫りの仕事ができるようになり、大変嬉しい。今後も地道に継続していきたいと思えます。

今後の姿と課題

新たな土産物の素材として、宮島の地域資源を活用できないかと模索しています。

廿日市市商工労政課 大年 勇樹さん



宮島彫り 木肌にノミの刃を当てている様子

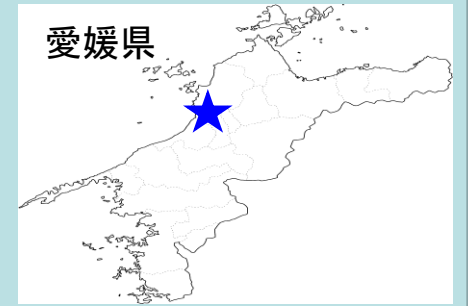
事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【観光分野】

事業概要

愛媛県立とべ動物園に、利用無料の案内ガイドを配置し、動物園の魅力を高め、利用者をさらに増加させようとする事業です。
展示動物の案内を通して、命の大切さや環境学習、人と動物の関係について理解を深めることができる魅力ある動物園を目指します。

愛媛県



委託先

財団法人 愛媛県動物園協会
(愛媛県立とべ動物園指定管理者)
職員53人

新たな
雇用創出数

3人

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

平成21年6月

愛媛県 0.53倍(季節調整値)

松山管内 0.46倍(原数値)

事業費

約1,420万円(平成21年度)

事業開始

平成21年4月～

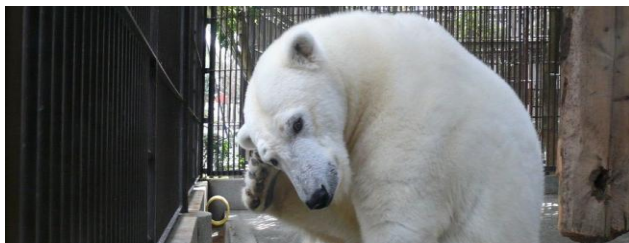
業務内容

平成21年6月から、ふるさと雇用再生特別基金事業として、新たに案内ガイド(3名)を雇用。案内ガイドは、動物や施設に関する疑問や質問にお答えしたり、積極的に話しかけたりしながら、来園者一人ひとりとの”出会い”“ふれあい”を大切にしています。



○園内は、地理学的配列を中心に10のゾーンに分かれています。ゾーンごとに動物を見ていくと、約180種1000点の世界中の動物に会えます。

○各ゾーンに観察のポイントを記した案内板や学習のための解説パネルなどを設置し、わかりやすく楽しく観ることができるように工夫してきました。



案内ガイド様子



私たちは、まだまだ勉強中ですが、来園者の皆さんの疑問・質問にお応えする仕事をしています。「案内係」の腕章が目印です。たくさんのお客さんと話すことができ、毎日楽しく仕事をしています。



どんなことでも構いませんので、私たちに気軽に声をかけて下さいね。

園長よりメッセージ

動物園は、動物と人との出会い、ふれあいの場ですが、人と人との出会い、ふれあいを通して、「なぜ?」「どうして?」「なるほど!」「そうなんだ!」という「驚き」と「発見」と「感動」の場でもあります。私は、案内ガイドさんに、そのきっかけづくりをしてもらいたいと思っています。

皆さん、今後とも、当園をよろしく願います。スタッフ一同、ご来園を心よりお待ちしております。

来園者の声から



ガイドさんが、わかりやすく動物の話をしてくれたので、動物がさらに好きになりました。

展示方法が工夫されているし、ガイドさんが熱心ですね。



案内ガイドさんから話しかけてくれたので、気軽に質問できたとし、会話も弾み、楽しい時間を過ごせました。

あったかふれあいセンター事業

【高知県】

(フレキシブル支援センター事業)

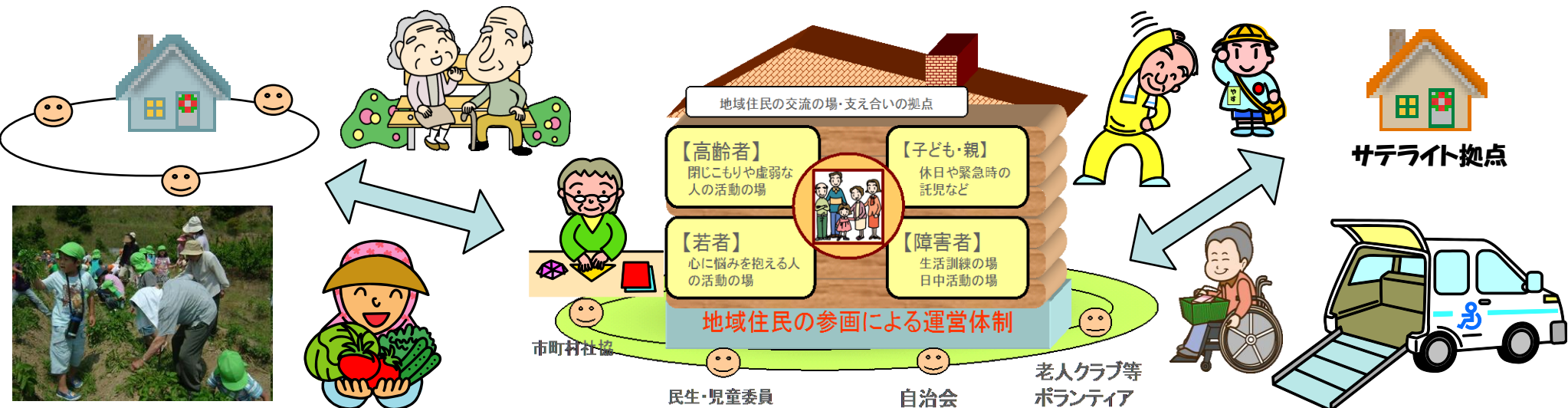
事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
[介護・福祉分野]

高知県では、ふるさと雇用再生特別交付金の事例として示された「フレキシブル支援センター」を「あったかふれあいセンター」として事業化し、市町村での設置を促進しています。

本県の実情に即した小規模・多機能なサービスをこのセンターで提供します。

わたしたちの「あったかふれあいセンター」 ～みんなで支えあう新しいカタチ in 香南市～



事業内容

デイサービス事業所を拠点とし、あったかふれあいセンターを併設し、高齢者、児童、障害者等誰もが集い交流を深め、生活支援を行う場を提供する。また、平成22年度より各地区でのサテライト型のあったかふれあい事業を行います。
(H21:香我美地区、H22～:野市、夜須、吉川の3地区でも実施・・・合計4地区)

委託先

香南市社会福祉協議会

事業費

約682万円 (H21)
総事業費 約4千万円
(H21～H23)

新規雇用者数

2名 (H21)
4名 (H22～)

事業実施

香我美地区 平成21年6月～
その他地区 平成22年度から



①【デイサービス機能】

高齢者や障害者、児童等の誰もが集い、介護予防教室の開催や創作活動の実施等、交流できる場を提供します。

②【サテライト機能】

香南市内の4箇所でそれぞれの地域ニーズに即したサービスの提供を行います。

③【移動支援機能】

移動手段が困難な利用者買い物の送迎を行うことにより、高齢者の自立と生活の質を高めます。

④【地域との交流機能】

高齢者と地域の子どもたちが自然環境の中で種まきから収穫まで畑仕事を通して、互いに親しみ、楽しむ交流の場をつくります。

利用者の声

- ・家にいても、テレビを見て、座っているだけなので、ここへきていろいろな人と話ができることがうれしい。
- ・体操をしまして、肩が凝らなくなって、夜もぐっすり寝れる。
- ・創作(折紙・ちぎり絵)をこの歳になってするとは思わなかったが楽しい。レクリエーションのゲームも楽しい。
- ・ここで、お昼みんなと一緒にごはんを食べると美味しい。



スタッフの声



- ・ 1人暮らしの高齢者の方は、人と話すことを喜び、楽しんでくれます。また、介護予防にも繋がっていると思います。
- ・ 地域のボランティアさんが、こんなに積極的に入ってきてくれることに驚き、名前のおりあったかふれあいを感じています。
- ・ 利用者の男性は少なく、無口ですが、だんだんと慣れ、周りの人に気遣ったり、会話もするようになってきました。

あったかふれあいセンターの現状と課題

現在、このあったかふれあいセンターには、地域の高齢者・障害者・そして、地域のボランティアさんや、幼稚園の園児、民生委員さん等だれでもが集える場所として、一緒に農作物を育てたり、収穫したり、また筋力体操・レクレーション等で高齢者から子どもまで互いに楽しく交流し、そして介護予防にも繋がり、利用者には大変好評です。今は1地区で実施していますが、来年度はサテライト型で他の地区でも実施したいと思います。

これからも地域のたくさんの方に知ってもらい、地域住民やボランティアなどを巻き込んだ事業を進めていきたいと思っています。

今後は、地域住民の協力や地域のニーズへの対応などを踏まえた、事業の継続的な実施が課題と考えています。